

1927  
(昭和2年)

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>4.18 台湾銀行休業（台湾島内店舗を除く、5月9日再開）</li> <li>4.21 市中銀行、恐慌に対処し22、23日の両日一斉臨時休業に決定</li> <li>4.22 モラトリアム実施（5月13日解除）</li> <li>● <u>8.8 東京コール協定金利翌日物最低1銭2厘（大阪1銭1厘）</u></li> <li>● <u>10.8 東京コール協定金利翌日物最低1銭1厘（大阪1銭）</u></li> <li>10.10 日銀、公定歩合1厘引下げ（商業手形割引歩合1銭5厘）</li> <li>12.1 昭和銀行開業（休業諸銀行の業務を継承）</li> <li>● <u>12.17 大阪組合銀行、銀行業務改善案（コールは担保付とし、据置期間は7日以内とするなど）を申合わせ。22日、東京組合銀行も同様申合わせ</u></li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>9.6 中国、国民政府の統一成る</li> <li>12.30 東京地下鉄道、浅草・上野間開業（日本最初の地下鉄、約2.2km）</li> </ul> |
|--|--|
- 
- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 銀行法施行</li> <li>2.1 月掛郵便貯金制度実施</li> <li>2.18 大阪預金協定加盟銀行、コール協定を拡張し、貸出最低利率を協定（2月20日実施）</li> <li>5.8 日銀、特別融通打切り（損失補償法分及び台湾融資法分、融資総額9億5300万円）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>2.11 第2回冬季オリンピック・サンモリッツ大会開幕</li> <li>2.20 第16回総選挙（初の普通選挙）</li> <li>4.10 日本商工会議所設立</li> <li>4.19 閣議、第2次山東出兵を決定</li> <li>6.4 張作霖爆死事件</li> <li>6.12 第12代日銀総裁に土方久徴就任</li> <li>6.29 治安維持法改正（死刑・無期徒刑を追加）</li> <li>7.1 特高警察設置</li> </ul> |
|--|--|

〈この年〉 チャールストン・ダンスブーム。流行語「モガ・モボ」。宝塚「モン・パリ」公演

1928  
(昭和3年)

## 1928

(昭和3年)

- 6.20 創業満10年
- 7.10 銀行の土曜半休実施に関する銀行法施行細則改正省令施行(銀行営業時間改正、午前9時から午後3時30分まで、土曜日半休)、当社も同調
- 9.1 共同証券株式会社開業(債券引受専業会社)
- 12.5 日銀(大阪支店)と当座取引開始を許可(現存短資会社では初)される
- 12.27 日銀(本店)と当座取引開始を許可される

- 7.28 第9回オリンピック・アムステルダム大会開幕(三段跳で織田幹雄、200m平泳で鶴田義行、初の金メダル獲得)
- 11.10 裕仁天皇即位の大礼式
- 〈この年〉 大礼記念イベントに「マネキン」と「ラジオ体操」が初登場。英フレミングがペニシリンを発見

## 1929

(昭和4年)

- 1.20 民政党・実業同士会などが金解禁を決議(この後議会で金解禁論議活発化)
- 2.27 上田要、約8カ月にわたる欧米各国歴訪に出帆。各国金融要人と会談(10月21日帰朝)
- 7.9 浜口新内閣、財政緊縮・金解禁等10大政綱を発表
- 11.21 金輸出解禁を決定(大蔵省令公布。1930年1月11日施行)

- 5.16 第1回アカデミー賞授賞式
- 7.2 浜口雄幸内閣成立(井上準之助、大蔵大臣に就任)
- 9.15 東京一下関間の特急列車に「富士」「さくら」の愛称
- 10.24 ニューヨーク株式大暴落(「暗黒の木曜日」、世界恐慌始まる)
- 〈この年〉 流行語「大学は出たけれど」。レマルク「西部戦線異常なし」を発表

## 1930

(昭和5年)

- 1.11 金輸出解禁実施
- 7.31 横浜正金銀行、為替統制売り開始
- 10.4 郡山合同銀行休業(以後、年末にかけて地方銀行の破綻続く)

- 4.22 ロンドン海軍軍縮条約調印
- 5.17 国際決済銀行(BIS)開業
- 10.1 特急列車つばめ号(東京・神戸間8時間55分)の運転開始
- 11.14 浜口首相、東京駅頭で狙撃され重傷

## 1930

(昭和5年)

10. 7 日銀、公定歩合1厘引下げ  
(商業手形割引歩合1銭4厘)
- 11.26 伊豆大地震  
(この年) この年世界恐慌深化。流行語「ルンペン」「エロ・グロ・ナンセンス」

## 1931

(昭和6年)

- 1.10 大蔵省証券の無保証金買入につき大蔵大臣の許可を受ける
- 1.17 大蔵省証券入札発行開始
- 4. 6 コール協定金利翌日物最低1銭
- 9.21 株式市場、英国の金本位制停止の報も加わり大混乱
- 9.21 横浜正金銀行にドル買い殺到
- 10. 6 日銀、公定歩合2厘引上げ  
(商業手形割引歩合1銭6厘)
- 11. 5 日銀、公定歩合2厘引上げ  
(商業手形割引歩合1銭8厘)
- 12.11 円相場急落、横浜正金銀行事実上為替売却を停止
- 12.13 金輸出再禁止実施
- 12.14 株価急騰、各市場立会休止(15~17日休会)
- 12.14 コール協定金利翌日物最低1銭2厘
- 12.一 上田要、12月13日に蔵相に就任した高橋是清の招きを受けて上京、「金利を安くしようと思ったら何から始めるか」の下問に答える
- 4.14 第2次若槻礼次郎内閣成立(井上準之助、大蔵大臣留任)
- 5. 1 エンパイアステート・ビル(381m、102階)完成
- 7. 2 満州万宝山事件(朝鮮・中国農民の衝突)勃発
- 8.11 重要産業統制法施行
- 9. 1 清水トンネル開通(9702m、当時世界最長)
- 9.18 満州事変勃発
- 12.13 犬養毅内閣成立(高橋是清、大蔵大臣に就任)

## 1931

(昭和6年)

- 12.30 金融逼迫によりコール市場混乱  
(翌日物レート日歩2銭5厘と1924年来の高値示現)

(この年) 東北・北海道大凶作・大飢饉。田河水泡「のらくろ」連載開始。銀座に柳復活。古賀政男「酒は泪か溜息か」ヒット

## 1932

(昭和7年)

- 1.28 銀行券の金貨兌換停止に関する勅令公布施行
- 3. 1 中京地方で銀行動揺(村瀬銀行、明治銀行休業等)
- 3.12 日銀、公定歩合2厘引下げ(商業手形割引歩合1銭6厘)
- 3.18 大蔵省証券の入札発行を停止、日銀または預金部引受けとする
- 5. 3 大蔵省、金融制度調査会を廃止し、特別金融制度調査会を設置(日銀制度改革につき調査)
- 5.16 5.15事件により株式取引所立会休止(18日再開)
- 6. 8 日銀、公定歩合2厘引下げ(商業手形割引歩合1銭4厘)
- 7. 1 資本逃避防止法公布施行
- 7.11 コール協定金利翌日物最低1銭1厘
- 8.18 日銀、公定歩合2厘引下げ(商業手形割引歩合1銭2厘)
- 8.26 コール協定金利翌日物最低1銭
- 11. 7 コール協定金利翌日物最低9厘
- 11.25 長期国債の日銀引受発行開始

- 1. 8 桜田門事件(天皇馬車に手投弾)
- 1.28 上海事変勃発
- 2. 4 第3回冬季オリンピック・レークプラシッド大会開幕
- 2. 9 前蔵相井上準之助、血盟団員に射殺される
- 3. 1 満州国、建国宣言を発表
- 3. 5 三井合名理事長団琢磨、血盟団員に射殺される
- 4.24 第1回日本ダービー開催
- 5.15 海軍青年将校ら、首相官邸などを襲い、犬養首相を射殺(5.15事件)
- 5.26 斎藤実内閣成立(高橋是清、大蔵大臣留任)
- 7. 1 満州中央銀行開設
- 7. 1 富士山頂に気象測候所開設
- 7.30 第10回オリンピック・ロサンゼルス大会開幕
- 9.15 日満議定書調印(満州国承認)
- 9.30 リットン調査団、日本政府に報告書を通達

## 1932

(昭和7年)

- 12.24 日銀、引受国債の対市中売却開始
- 12.31 銀行法に基づく無資格銀行の整理期間満了。ビルブローカー銀行消滅（銀行法施行時には早川、柳田、藤本各ビルブローカー銀行が存在）

（この年） 満州移民始まる。流行語「昭和維新」「王道楽土」（満州国スローガン）

## 1933

(昭和8年)

- 2.5 東京支店現所在地に新築・移転（現東京本部建物の2代前の建物）
- 3.6 米国の金融恐慌のため為替市場休止、株式取引所も休会（8日再開）
- 3.8 政府、為替相場の基準を米ドル建てから英ポンド建てに変更
- 3.28 日銀と貸出取引の承認を受ける
- 3.29 外国為替管理法公布（資本逃避防止法廃止、5月1日施行）
- 4.10 コール協定金利翌日物最低8厘
- 5.25 外国為替管理委員会発足
- 7.3 日銀、公定歩合2厘引下げ（商業手形割引歩合1銭）
- 7.10 コール協定金利翌日物最低7厘
- 12.9 三十四、鴻池、山口3行合併し、三和銀行を新立

- 1.30 ヒトラー、独首相に就任（ナチス政権獲得）
- 3.3 三陸地方に大地震・津波
- 3.27 国際連盟脱退
- 5.3 大阪市営高速鉄道（地下鉄）梅田・心斎橋間開通
- 5.26 京大滝川事件起こる
- 6.19 丹那トンネル貫通（着工以来15年ぶり、開通1934年12月1日）
- 7.8 文部省「非常時と国民の覚悟」を、外務・陸軍・海軍各省と共同編纂し、学校・社会教化団体へ配布
- 10.14 独、国際連盟脱退
- 12.5 米、禁酒法を撤廃（14年ぶりにアルコール飲料販売許可）

（この年） 三原山投身自殺ブーム（年間投身者男804人、女140人）。「東京音頭」大ヒット、「ヨーヨー」大流行

## 1934

(昭和9年)

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1 手形法、小切手法施行</li> <li>4. 7 日本銀行金買入法公布施行</li> <li>● <u>9.21 関西地方は早朝から大風雨に見舞われ(室戸台風)、綿糸・株式市場などは休場、手形交換時間は1時間延長となる。当社は金融市場の安定に尽力、23日(日)に臨時出勤を行って対応</u></li> <li>● <u>12.26 上田要、紺綬褒章受章</u></li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>3. 1 満州国、溥儀執政皇帝に即位</li> <li>4.18 帝国人絹会社株式買い受けをめぐって疑獄事件起こり、5月19日、大蔵次官黒田英雄を召喚(帝人事件)</li> <li>5.15 商工省、ビール醸造業・石炭鉱業を重要産業統制法による重要産業に指定</li> <li>7. 3 斎藤内閣、帝人事件で総辞職</li> <li>7. 8 岡田啓介内閣成立(藤井真信、大蔵大臣に就任。同年11月27日高橋是清、1936年2月27日町田忠治、大蔵大臣に就任)</li> <li>8.19 ヒトラー、首相と大統領を兼任</li> <li>9.21 室戸台風、関西を襲う。死者・行方不明3036人、全壊流失4万戸</li> <li>10.16 中国紅軍が長征を開始(1935年10月20日終了)</li> <li>12.26 日本初のプロ野球チーム「大日本東京野球倶楽部」誕生</li> <li>12.29 海軍軍縮条約破棄を通知</li> <li>&lt;この年&gt; 東北冷害・西日本旱害・関西風水害のため米作など大凶作。流行語「国防色」。渋谷の忠犬ハチ公像除幕</li> </ul> |
|---|---|

## 1935

(昭和10年)

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>5.18 全国公社債協会設立</li> <li>6.25 高橋蔵相、公債漸減方針を表明</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>2. — 湯川秀樹が中間子論を発表</li> <li>2.18 菊地武夫、貴族院で美濃部達吉の天皇機関説を攻撃</li> <li>3.16 ヒトラー、独の再軍備を宣言</li> </ul> |
|---|---|

1935  
(昭和10年)

- |       |  |       |   |
|-------|--|-------|---|
| 10. 1 | ビルブローカー八木商店設立<br>(大阪市、八木短資の前身)                 | 6. 4  | 第13代日銀総裁に深井英五<br>就任   |
| 11. 4 | 政府、満州国の国幣価値安定<br>及び幣制統一に協力する旨声<br>明(円リンク・日満等価) | 〈この年〉 | 芥川賞(第1回石川達三)、<br>直木賞(第1回川口松太郎)<br>創設。駅弁始まる。流行語<br>「ワンサ・ガール」 |

1936  
(昭和11年)

- |         |                                       |        |   |
|---------|---------------------------------------|--------|---|
| 2. 26   | 2.26事件勃発、東京手形交<br>換所・各取引所臨時休業         | 1. 15  | 海軍軍縮会議からの脱退を通<br>告  |
| 3. 9    | 馬場蔵相、公債漸減方針の放<br>棄を言明                 | 2. 6   | 第4回冬季オリンピック・ガ<br>ルミッシュパルテンキルヘン<br>大会開幕                                      |
| 4. 7    | 日銀、公定歩合1厘引下げ<br>(商業手形割引歩合9厘)          | 2. 26  | 皇道派青年将校、1400余人<br>の部隊を率い拳兵し、内大臣<br>斎藤実・蔵相高橋是清・教育<br>総監渡辺錠太郎らを殺害<br>(2.26事件) |
| 5. 13   | 馬場蔵相、衆議院予算委員分<br>科会において1県1行主義を<br>打出す | 2. 27  | 東京市に戒厳令布告   |
| ● 9. 10 | <u>上田要、満州・北支を視察<br/>(10月6日帰朝)</u>     | 3. 9   | 広田弘毅内閣成立(馬場鑣一、<br>大蔵大臣に就任)  |
| 9. 25   | 全国地方銀行協会設立                            | 5. 9   | 伊、エチオピア併合を宣言  |
| ● 11. 1 | <u>預金部、日本興業銀行を通じ<br/>コール資金放出を開始</u>   | 7. 18  | スペイン内乱勃発  |
| 11. 27  | 大蔵省、特別金融制度調査会<br>を廃止し、金融評議会設置を<br>決定  | 8. 1   | 第11回オリンピック・ベル<br>リン大会開幕   |
| 12. 10  | 商工組合中央金庫開業                            | 8. 7   | 首・蔵・外・陸・海5相会議<br>で「国策の基準」を決定(大<br>陸・南方への進出、軍備充実<br>を決める)                    |
| 12. 12  | 神戸岡崎銀行はじめ7行が合<br>併し、神戸銀行を新立           | 11. 25 | 日独防共協定締結(1937年<br>11月6日伊が参加)  |
|         |                                       | 〈この年〉  | 蒸気機関車D51登場。阿部<br>定事件起こる。流行語「前畑<br>ガンバレ」「忘れちゃいやよ」                            |

1937  
(昭和12年)

- 2. 9 匿名組合を株式会社上田商店に改組、上田要、取締役社長に就任（専務取締役柴沼静雄、田澤哲三郎）資本金200万円
  - 7. 13 六甲山荘竣工開設（着工3月）
  - 7. 15 日銀、公定歩合（国債担保貸付利子歩合）1厘引下げ（商業手形割引歩合9厘据置）
  - 9. 1 東京信用保証協会開業
  - 9. 10 臨時資金調整法公布
  - 9. 14 臨時資金調整法に基づく業態別自治調整機関として産業組合金融統制団を結成
  - 9. 21 日銀、公定歩合（貸越利子）1厘引下げ（商業手形割引歩合9厘据置）
  - 11. 16 国債の郵便局売出し再開
  - 12. 11 当社ら主要ビルブローカー6社（上田、藤本、奥山、柳田、山根、早川）、大蔵省・日銀の了解の下にビルブローカー協会を設立。上田要、理事に就任
  - 2. 2 林銑十郎内閣成立（結城豊太郎、大蔵大臣に就任）
  - 2. 9 第14代日銀総裁に池田成彬就任
  - 2. 11 文化勳章令公布施行
  - 5. 6 独飛行船ヒンデンプルク号が米レークハースト空港で爆発炎上（大型飛行船時代終わる）
  - 6. 4 第1次近衛文麿内閣成立（賀屋興宣、1938年5月26日池田成彬、大蔵大臣に就任）
  - 7. 7 蘆溝橋で日中両軍衝突（日中戦争の発端）
  - 7. 27 第15代日銀総裁に結城豊太郎就任
  - 10. 1 百貨店法施行
  - 10. 1 防空法施行
  - 12. 13 日本軍、南京を占領
- 〈この年〉 戦時色が強まり「国民精神総動員」「千人針」「慰問袋」「銃後」が流行語に

1938  
(昭和13年)

- 6. 1 臨時通貨法公布施行
- 6. 20 創業満20年
- 7. 1 有価証券業取締法施行
- 12. 14 証券引受会社協会設立
- 5. 5 国家総動員法施行
- 7. 1 国民健康保険法施行
- 7. 5 関西地方に豪雨。六甲連山の各河川決壊。阪神間未曾有の被害。死者933人、流失破壊1万3200戸
- 7. 14 1940年の東京オリンピック返上を決定